

「いわき市道路事業基本方針（素案）」に対する 市民意見募集（パブリックコメント）の実施結果



- 市民意見募集（パブリックコメント）の概要
- 市民意見募集（パブリックコメント）の結果



令和7年12月
いわき市 土木部 土木政策課





市民意見募集（パブリックコメント）の概要

1 対象案件

いわき市道路事業基本方針（素案）

2 意見募集期間

令和7年11月11日（火）～11月25日（火）（15日間）

3 意見提出方法

任意の様式に意見・住所・氏名・電話番号を記入し、次のいずれかの方法により提出

- (1) 郵送または直接持参
- (2) FAX
- (3) 電子メール

4 資料公開

(1) 公開資料

- ・ いわき市道路事業基本方針（素案）〔概要版〕
- ・ いわき市道路事業基本方針（素案）

(2) 公開場所

- ・ 市役所 本庁舎 1階 市民ロビー
- ・ 市役所 本庁舎 5階 土木政策課
- ・ 市役所 各支所 情報公開コーナー
- ・ 市ホームページ



市民意見【No.1】

〔市民意見の内容〕

「いわき市道路事業基本方針」の素案を拝見しました。市民として次のとおり意見を述べたいと思います。

毎日、通勤する中で、畑の脇の道路を工事している（道路の幅を広げている？）光景を目にする時があります。いわき市には、利用している人が少ない道路を整備する余裕があるのか、いつも疑問が生じています。それぞれの地区からの話があって整備していることなのかもしれませんが、もっと効果がある整備を実施してほしいです。これからは益々、人が減ってきて、税収も減ると思いますので、費用対効果を重視した道路の整備を行ってほしいです。

また、通勤途中で草が生い茂っているために見通しが悪く事故を起こしそうな危ない目にあったことが幾度となく経験しています。人件費があがっているため除草ひとつとってもお金がかかりますが、少なくとも交通量がある交差点の部分についてはこまめな除草をお願いしたいです。市道ではなく国道や県道の部分かもしれませんが、除草の実施については強くお願いしたいです。

最後になりますが、私は、これまでに国や県の工事も含め、住民に対しての説明会がある場合には必ず出席しています。説明会を行っていただくのは大変ありがたいのですが、大抵の説明会は最初だけで、途中段階の説明会はゼロに等しいと感じています。今回の方針に書かれていますが、ぜひとも適時適切な説明会を行っていただき、地域や沿線住民の理解のもと各種事業を進めていただきたいと思います。

〔意見に対する市の考え方〕

人口減少・少子高齢化の進行や、物価高騰等を踏まえ、限りある行政資源の投資にあたっては、今まで以上に費用対効果を重視することが重要であると考えております。

本基本方針においても、「整備要望に対する評価の明確化」を主要な施策に位置付けており、今後は、路線の重要度や緊急性、事業効果などから、新規事業化の可否や優先順位を判断する評価基準を策定し、効果的な整備に取り組んで参ります。

街路樹の剪定や除草など、道路の維持管理に関するご意見・ご要望は、市民や利用者等から数多く寄せられております。本基本方針では、「適正なインフラメンテナンスの推進」を施策に位置付けており、計画的な維持管理に努めて参ります。

本基本方針に基づく、持続可能な道路行政の運営にあたっては、地域住民の皆様との協働が必要不可欠であることから、説明会をはじめ、様々な媒体による適時適切な情報発信に努め、理解と信頼関係の構築に取り組んで参ります。



市民意見【No.2】

[市民意見の内容]

線状降水帯などにより道路が冠水し道路の機能が停止する可能性があるため、交通量の多い幹線的な役割を担っている市道については、優先的に冠水対策の実施をお願いしたいです。

市内の渋滞に関しては、右折車線から車両が溢れて直進車線が渋滞している状況や、バスの乗降中に後続車両が渋滞している状況をよく見受けられるため、道路管理者や警察と粘り強く協議し、効果的な渋滞対策を実現していただきたいです。

走りたくなる自転車走行空間の創出とありますが、運転していると自転車と接触するような危なっかしい思いをする場面が多々あります。ナショナルサイクルートの指定を目指していると記載されていますが、自転車を利用する方にとって、安全で暮らしやすくなるよう、必要最小限でも構いませんので、路面表示や案内・注意喚起看板の設置をお願いしたいです。

今後、いわき市も他の地方都市同様に人口が減少するため、記載されているとおり「メリハリある道路づくり」を進めていただきたいです。新たな道路を整備することより、今ある道路を適正に管理することに重きを置いていただきたいです。

この基本方針については、市役所の中の縦割りではなく、関係する部署との連携を密にして進めていただきたいです。

以前、土木関係の仕事に携わっていたものとして意見させていただきました。よろしくお願いいたします。

[意見に対する市の考え方]

頻発・激甚化する自然災害に備え、有事においてもその機能が維持される災害に強い道路を目指し、冠水対策をはじめとした「防災・減災対策の推進」に取り組んで参ります。

市民生活はもとより、地域経済活動を停滞させる要因となる慢性的な交通渋滞については、国・県市の道路管理者や交通事業者など、様々な関係機関と連携を図りながら、ソフト・ハードの両面から効果的な対策を講じるなど、「安全・安心な道路機能の向上」に取り組んで参ります。

自動車のみならず、自転車や人も「安全・安心」に利用できるよう、利用状況に応じ、路面表示等の交通安全対策を講じることで、全ての道路利用者にとって「快適で魅力的な道路空間の創出」に取り組んで参ります。

「選択と集中によるメリハリあるみちづくり」の推進にあたっては、老朽化、防災・減災対策など、今後もニーズの高まりが予測される維持管理の効果・効率化が重要であると考えております。

将来にわたり、市民や利用者の皆様に健全な道路環境を提供できるよう、持続可能でメリハリのある道路行政に取り組んで参ります。

また、新たなみちづくりにあたっては、整備の必要性や優先順位を判断する評価基準の策定を進めることにより、真に必要な道路（みちづくり）を見極めながら、取り組んで参ります。

本基本方針に基づく、持続可能な道路行政の運営にあたっては、庁内関係部署はもとより、国や県などの関係機関との連携を図りながら、まちの魅力向上に寄与するみちづくりに取り組んで参ります。



市民意見【No.3】

〔市民意見の内容〕

「いわき市道路事業基本方針(素案)」で示される内容は、昨今の社会情勢を踏まえた至極真っ当なものであると感じました。

特に、「整備要望に対する評価の明確化」は、道路行政のみならず、市政全般に通ずるものであり、今後の政策形成にあたって、大変重要なものであると考えます。

市民からの要望であったとしても、すべてを平等に進めていくことは不可能であり、利用者数や経済的な効果が期待できるエリアを優先するなど、その方針を明確にすることで、仮に新規事業化に至らない場合であっても要望者からも理解が得られるはずです。

交通量が少ない地域で無理に新しい道路を整備することに疑問を感じている市民は多いと思います。同じ予算を投じるのであれば、既存の道路の修繕や交通安全対策を充実させることが費用対効果の面で優れています。

まずは、予算があるから整備をするではなく、必要だから整備を行うとの当たり前の考えのもと、市民生活や地域経済に寄与する費用対効果の高い道路事業が推進されることを期待しています。

〔意見に対する市の考え方〕

今後は、路線の重要度や緊急性、事業効果などから新規事業化の可否や優先順位を判断する評価基準を策定し、公平性・透明性を確保しながら、市民や利用者等から納得の得られる効果的な整備に取り組んで参ります。



市民意見【No.4】

〔市民意見の内容〕

「勿来バイパス」は、「サンシャインロード」からの接続、東北の玄関口として、「勿来駅改築」も踏まえ、重要インフラとなって頂きたいです。

「小名浜道路」は「サンシャインロード」への円滑な接続は勿論、各種国道や県道・市道への線形改良による接続までして頂きたいです。

道路管理事務所を踏まえる、添野IC付近の道路の拡幅及び改良、「道の駅」を整備して、観光への誘導・賑わいや生活拠点の創出をお願いします。

コンパクトシティ化を踏まえ、市内13地区の北・中・南津々浦々、中心地へのアクセスを誘導・接続すべく、道路改良・拡幅をお願いします。

自動車や電気自動車、公共交通バス、定額・ジャンボタクシーなど、様々な乗り物が走りやすくなる道づくりは不可欠です。

また、スクールバスやスクールタクシーが通りやすい、安心して通勤・通学できるよう、学校付近や事業所付近の交差点、道路の渋滞解消と拡幅と線形改良を必ず実現して下さい。防災に適した、河川や法面、林道や山道の舗装工事は道路改良と両輪でお願いします。

市民が安心して街中を歩いて行けるよう、歩道の拡幅・改良、交差点及び横断歩道のスクランブル化、無電柱化と街灯とガードレール、道路上のLED化をお願いします。

いわき市の発展を願った「みちづくり事業」をお願いします。

〔意見に対する市の考え方〕

市民や利用者の安全・安心の確保、生活環境の質や地域経済活動の生産性の向上に資する道路行政の運営にあたっては、ご意見をいただいた「まちづくり」、「交通」、「防災」といった多角的な視点から施策等を展開していくことが肝要であると考えております。

今後は、本基本方針に基づく施策等の推進により、魅力あるまちづくり、本市の持続的発展に寄与するみちづくりに取り組んで参ります。

なお、その他、個別具体的なご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。



市民意見【No.5】

〔市民意見の内容〕

東日本大震災、近年の豪雨災害を経験した我々、いわき市民にとって、防災・減災対策の重要性は、言うまでもありません。

当然ながら、その対策には、多大な時間と予算が必要であることも理解しています。

今後は、防災・減災対策を最優先事項として掲げ、継続的に災害に強い安全な道路整備を市民目線で進めていただくことを強く望みます。

民間企業との競争により、市職員においても人材の確保が困難になっていると推察しますが、これまでの各種災害への対応に従事されてきた職員の皆様に敬意を表します。

〔意見に対する市の考え方〕

頻発・激甚化する自然災害に備え、有事においてもその機能が維持される災害に強い道路を目指し、法面对策や冠水対策など、様々な「防災・減災対策」に取り組んで参ります。



市民意見【No.6】

〔市民意見の内容〕

道路事業は、市民生活や地域の発展に直結する重要な公共事業であるため、市民や利用者の理解と合意形成を十分に図ることが不可欠であり、多様な立場の意見を取り入れるプロセスを重視すべきです。

そのうえで、土木行政に特化した新たな附属機関を設け、透明性を確保しながら、事業を進めていくことは大変有意義であり、不要な事業を防ぎ、真に必要な事業が進められていくものと思われます。

また、広報いわきが変わってから、「道路」に関する情報が数多く発信されていると感じています。今回も広報いわきの記事を見て、意見を投稿しました。

今後、情報発信を充実させていただき、合意形成を基盤とした道路事業を推進することで、市民が納得できるインフラ整備が着実に進むことを期待しています。

〔意見に対する市の考え方〕

本基本方針に基づく、持続可能な道路行政の運営にあたっては、市民や利用者等の理解と合意形成のもと、協力を得ながら、取り組んでいくこと、また、行政のみではなく、多様な立場からのご意見を反映させ、政策形成を行うことは、大変重要であると考えております。

そのため、本年10月に、幅広い見識や専門的な知識を有する学識経験者や国、県等の行政関係者、更には、地域・産業・観光・まちづくりなど、様々な分野の関係者等で組織する「いわき市土木審議会」を設置したところであり、今後の施策や事業の決定及び実施に際しては、同審議会からのご意見を踏まえながら、取り組んで参ります。

なお、審議会での検討状況等については、市ホームページ等への掲載など、適時適切な情報発信を行うことにより、政策形成(プロセス)の透明性確保に努めて参ります。